

事業の基礎情報

実施主体	神戸市
事業実施地域	神戸市中央区
共創の類型	官民共創
他分野共創の類型	観光・まちづくり
共創パートナー	神姫バス（株）、ハーバーランド運営協議会、ポートループ利用促進部会
運行形態	連節バス「ポートループ」
運行主体	神姫バス（株）

取組の概要

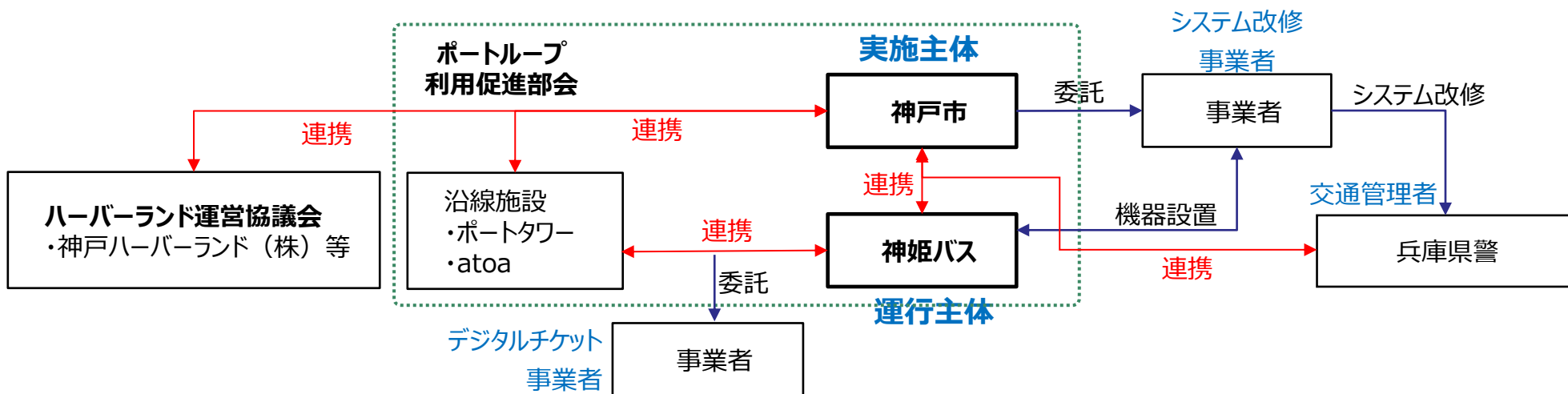
（現状の地域課題と事業目的）

- ・神戸市では、まちづくりの方針と一体性を確保しながら、それぞれの地域特性に応じた公共交通ネットワークを形成することにより、自動車から公共交通への利用転換を進め、市域全体の公共交通ネットワークの維持・充実を図ることとしている。
- ・神戸の都心・ウォーターフロントは、神戸の魅力を発信する地域の一つとして再整備を進めている。また、公共交通中心のウォカブルなまちづくりを目指しており、その一環として、回遊性の向上等を目的として、新たな交通システムとして連節バス「ポートループ」を導入した。
- ・しかし、慢性的な渋滞により遅延が発生し、定時性が確保されていない。また、情報発信の不足等もあり、ポートループがうまく活用されていない。
- ・そこで、ポートループの利便性の向上や情報発信を強化させるとともに、沿線施設での公共交通利用者への優待等を行うことで利用者を増やし、自家用車から公共交通（ポートループ等）への転換を促し、渋滞緩和につなげ、回遊性を向上させ、公共交通中心のまちづくりを促進し、まちの活性化に繋げる。

（事業の概要）

- ①優先信号システムの試験導入 ②エリア内の渋滞対策に向けた調査 ③バスの位置情報の発信 ④観光情報の発信 ⑤バス利用者に対する施設優待

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

（地域の関係者との連携・協働）

○兵庫県警

・優先信号システムの導入に協力していただき、交通の円滑化とともにまちづくりに協力してもらう。

○ハーバーランド運営協議会

・ハーバーランドをエリアマネジメントを行う会議体。39社・団体が加盟。情報発信と共にハーバーランド内の渋滞対策に協力してもらう。

○ポートループ利用促進部会

・ポートループ沿線の活性化を目的に、沿線施設、企業で組織する会議体。ポートタワーの運営事業者である（株）フェリシモ、atoaを運営する（株）アクアメント等40社・団体が加盟。沿線の情報を発信や、施設優待（企画乗車券造成）に協力してもらう。

（実証事業により見込まれる効果）

・バスの利便性が向上することで、自家用車から公共交通への転換を図る。その結果、周辺の自動車交通量が減り、渋滞が減る。

・バス沿線の施設を認識してもらい、当初目的地としていなかったスポット、施設への回遊を促す。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

実施者	実施項目	2024年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月	
神戸市	優先信号システム		関係者協議 現地調査		システム構築 接続試験			実施			効果検証			
	渋滞緩和		関係者協議						調査・関係者協議					
神姫バス	位置情報		システム構築				実施					効果検証		
			標柱制作・設置											
	観光案内		関係者協議			実施								
			施設優待		関係者協議			実施						

(補助事業実施後の予定)

- ①優先信号については
- ・R7は神戸市が予算を要求し、対象交差点を増やし、試験導入を実施する。試験導入に必要なシステム本体の費用は今回の費用に含まれており、来年度以降は交差点数に応じた追加費用となるため、市単費での実施となっても負担は少ない。
 - ・実証実験の結果を踏まえ、遅延対策として本格導入を目指し、兵庫県警と協議を行う。
- ②③④⑤については
- ・神姫バスや神戸市が中心となり、情報発信、渋滞対策を行っていく。
 - ・沿線事業者と連携し、施設で優待が受けられる取り組みを進める。